

# 創建

そうこん

2011・5・20 VOL.46 NO.1 (通巻137号)

■ 日本大学・工学部・建築学教室 ■

- 学科主任あいさつ 浅里和茂・1
- 学生ボランティア活動報告・1
- 平成22年度進路先一覧(速報版)・2
- 平成22年度就職活動報告・3
- 新任の紹介／・教職員名簿・4

このたびの東北地方太平洋沖地震により被災された方々とご家族の皆様へ、心よりお見舞い申し上げます。

## 建築学科 教職員一同

2011年3月11日は、おそらく生涯忘れてはいけない日となってしまいました。東北・関東を襲った地震はあまりにも巨大で、あまりにもひどく、広範囲な被害をもたらしてしまいました。これまで建築構造を専門とし、耐震設計にわずかなりとも力を尽くしてきたつもりであった自分ですが、そのような行いが無くなったような気さえています。それほどまでに沿岸部における津波の被害は甚大で、耐震設計の成否を検証することさえ拒んでしまっています。あえて現時点での評価をすれば、新耐震設計法に忠実であったものは被害が少なく、そうでないものに被害が多いという結果になっています。また、学校・公共施設で耐震補

強されていたものに被害が少なかったことは、多少の救いではありますが、しかしながら、いまだに被害に遭われた方々の正確な人数すら把握できていない現状では、このような検証が何の意味を持たないような気さえています。これから個人的にも建築という学問と技術を再構築する必要があると考えています。

さて、このような東日本大震災および原発事故の影響で平成23年度はおよそ一ヶ月遅れとなり、5月6日の入学式・開講式から新学期のスタートとなりました。その後、ガイダンス、5月14日の授業開始と続き、前学期試験は7月26日から8月4日までとなります。そのため、通常13回の授業がこの前学期に限り10回となりますので、学生諸

君には集中して取り組んで欲しいと思います。このように授業回数が減少したことから、前学期試験終了後の8月5日から8月24日までを特別補習期間として、授業の不足分を補うこととしています。

郡山市内や周辺地域だけに限っても多くの人が被害を受け、さらには太平洋岸から避難して来られた方々がたくさんいらっしゃいます。また、被災した建物の復旧に向けた活動も始まっています。このような状況に対して、私たちはこれからもさまざまな取り組みを続けていかなければいけないと考えています。

建築学科主任 教授 浅里 和茂



## 学生ボランティア活動報告 —被災者の役に立ちたい、その思いを行動に—

4月21日(木)に郡山市のビッグパレットふくしまにて、慶應大学の学生とともに、坂茂建築設計による「東日本大震災津波支援プロジェクト」の一環として、避難所用簡易間仕切り約200セットの設置をボランティア活動しました。被災者の役に立ちたいという有志の学生を募ったところ、地元福島県出身者を中心に、他学科も含め総勢44名の学生が集まり、坂茂氏が見守る中、作業を行いました。参加学生は「何か自分にできることはないだろうかと思っていたところ、ボランティア募集の連絡をみて、すぐに参加を決めました」「避難所の方々にボランティアに来てくれてありがとうと言われ、この活動に参加できてよかった。また必ず参加したい。」などと話し、

非常に有意義な体験になったようです。

4月27日(水)には、ボランティア活動第2弾として、カーテン布の交換や表札づくり、さらに被災者からの要望を受けた間仕切り腰壁の試作を行いました。参加学生は2度目ということもあり、積極的に被災者とのコミュニケーションをとりながら作業しました。また、福島放送の取材を受け、当日の夕方ニュースに大学生の活動として放映されました。今後も被災者の方々が避難所を巣立つ時まで、思いを込めて我々ができることを支援していく所存です。

ボランティア活動担当：土方吉雄、日比野巧、市岡綾子



## 平成22年度 建築学科就職活動報告 (速報)

昨年度の学部卒業生188名・博士課程修了生17名、計205名の進路先について、3月31日現在の情報として編集係が確認した全進路先を、速報版として掲載します。就職活動の状況分析については改めて報告します。また大学院には、日本大学大学院工学研究科20名、東京工業大学大学院総合理工学研究科1名が進学しました。

\* 女子学生：( )数

企業名	所在地	就職者数	企業名	所在地	就職者数	企業名	所在地	就職者数
総合建設業・エンジニアリング 43 (1)			建設業・建築関連 14 (1)			㈱エスデー設計研究所	福島県	1 (1)
㈱大林組	東京都	2	中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京㈱	東京都	1	㈱邑建築事務所	福島県	1 (1)
鹿島建設㈱	東京都	1	東日本旅客鉄道㈱	東京都	1	(有)商業施設マネジメント	福島県	1 (1)
大成建設㈱	東京都	1	㈱ナガワ	埼玉県	1	軽部建築設計事務所	茨城県	1 (1)
㈱竹中工務店	大阪府	1	㈱東洋スタビ	岐阜県	1	(有)尚建築設計	福島県	1 (1)
戸田建設㈱	東京都	1	会津ガス㈱	福島県	1	㈱ライブ環境建築設計	群馬県	1
五洋建設㈱	東京都	1	森平舞台機構㈱	東京都	1	(有)湧設計	福島県	1
㈱フジタ	東京都	1	㈱日装	東京都	1 (1)	(有)フィールドネットワークデザインコーポレート	東京都	1 (1)
鉄建建設㈱	東京都	1	㈱リンク・トラスト	東京都	1	㈱ゼン建築構造事務所	大阪府	1 (1)
㈱ピーエス三菱	東京都	1	㈱三新建工	栃木県	1	(有)高橋機械設計	埼玉県	1
第一建設工業㈱	新潟県	1	(有)オガタ	宮城県	1	建築士橋本伸一郎事務所	栃木県	1
㈱福田組	新潟県	3	㈱朝妻組	新潟県	1	インテリア・建材・住設機器		8
西武建設㈱	埼玉県	1	㈱横関工業	北海道	1	アイリスオーヤマ㈱	宮城県	1
T S U C H I Y A ㈱	岐阜県	2	(有)富永工務店	山形県	1	ハイビック㈱	栃木県	1
㈱角藤	長野県	2	つくば土木工事㈱	茨城県	1	㈱東京インテリア家具	栃木県	2
仙建工業㈱	宮城県	1	住宅産業・不動産業 27 (8)			東北ポール㈱	宮城県	1
㈱松尾工務店	神奈川県	1 (1)	大和ハウス工業㈱	大阪府	1 (1)	藤寿産業㈱	福島県	1
第一設備工業㈱	東京都	1	東日本ハウス㈱	東京都	2	㈱オノツカ	福島県	1
小柳建設㈱	新潟県	1	㈱アーネストワン	東京都	1	郡山エービーシー建材㈱	福島県	1
埼玉建興㈱	埼玉県	1	グランディハウス㈱	栃木県	1	その他 16 (4)		
鈴縫工業㈱	茨城県	1	セキスイハイム東北㈱	宮城県	4 (2)	㈱ワールド	兵庫県	1 (1)
奈良建設㈱	神奈川県	2	大成ユーレック㈱	東京都	2	㈱青森銀行	青森県	1
日本建設㈱	東京都	1	ミサワホーム西関東㈱	埼玉県	1	㈱いちやまマート	山梨県	1
㈱橋本店	宮城県	2	栃木セキスイハイム㈱	栃木県	1	㈱夢真ホールディングス	東京都	5
昭和建設㈱	茨城県	1	㈱イシカワ	新潟県	1	日本ビジネスシステムズ㈱	東京都	1
大洋建設㈱	神奈川県	1	セキスイファミエス東北㈱	宮城県	1 (1)	㈱大協精工	東京都	1
磯部建設㈱	栃木県	1	㈱石井工務店	福島県	2 (2)	㈱ライフフーズ	福島県	1
菅野建設工業㈱	福島県	1	レスコハウス㈱	東京都	1	㈱セントラルユニ	東京都	1 (1)
田中建設㈱	福島県	1	トヨタホームとうほく㈱	宮城県	1	坂下電子工業㈱	福島県	1 (1)
㈱新潟藤田組	新潟県	2	サンワ設計㈱	茨城県	1	㈱ドッポ	福島県	1
石橋建設工業㈱	福島県	1	㈱ノーブルホーム	茨城県	2 (1)	㈱クラフト	福島県	1 (1)
㈱片山組	東京都	1	㈱興建	神奈川県	1	ネイルパートナー㈱	東京都	1
㈱阿部和工務店	宮城県	2	㈱むぎくら	栃木県	1 (1)	公務・教員・団体 12 (5)		
㈱南会西部建設コーポレーション	福島県	1	㈱鈴木木工務店	茨城県	1	郡山市役所	福島県	1 (1)
荒牧建設㈱	福島県	1	㈱亀岡工務店	福島県	1	福島市役所	福島県	1 (1)
建設設備 11			㈱創建	山形県	1	伊達市役所	福島県	1 (1)
㈱ユアテック	宮城県	1	設計事務所・コンサルタント 13 (7)			ひたちなか市役所	茨城県	1
新菱冷熱工業㈱	東京都	1	㈱アディスミューズ	東京都	1 (1)	神栖市役所	茨城県	1
三建設備工業㈱	東京都	1	㈱サンユウビルエンジニアリング	東京都	1	浅川町役場	福島県	1
㈱ヤマト	群馬県	1	㈱開発設計コンサルタント	東京都	1	郡山地方広域消防組合	福島県	1
㈱オーテック	東京都	1	㈱フケタ設計	栃木県	1	桐生市消防本部	群馬県	1
川本工業㈱	神奈川県	1	㈱エーシー工設計	長野県	2 (2)	防衛省 海上自衛隊	東京都	1 (1)
藤田エンジニアリング㈱	群馬県	1	㈱レーモンド設計事務所	東京都	1	郡山市農業(協)	福島県	1 (1)
㈱関工ファシリティーズ	東京都	1	コンストラクションインベストマネジャーズ㈱	大阪府	1	茨城県教育委員会	茨城県	1
㈱ゲンエイ	群馬県	1	㈱横須賀満夫建築設計事務所	茨城県	1	山梨県教育委員会	山梨県	1
エルゴテック㈱	東京都	1						
㈱ジェット	福島県	1						

## 平成22年度卒業・修了生 就職活動報告



<総合建設業・施工管理職>

岡野健太郎 (三浦研究室 大学院生)

進路先: 株式会社鹿島建設

出身校: 茨城県立並木高等学校

私は、施工管理職に限らず様々な企業説明会に参加することで、今まで知らなかった業界に対して多くの魅力を発見することができました。企業の魅力と一言で言っても、事業内容・企業の規模・年収・働いている社員の方など様々なファクターがあり、個人の考えで異なるものです。まずは企業にどのような魅力を求め、そこで自分が何をしたいのかを考えてみてください。将来への第一歩はここからスタートします。自己分析や業界・企業分析などに力を注ぎ、苦勞・努力を怠ることなく、自分の人生に真剣に向き合うことで、結果は自ずと付いてくると思います。また、工学部は多くのOBの存在とOBの後輩に対する温かい応援が強みなので、大いに活用しましょう。



<住宅産業>

佐藤 希美 (倉田研究室 学部生)

進路先: 株式会社大和ハウス工業

出身校: 私立樹徳高等学校 (群馬県)

私は、教育、営業、建築技術職と3つの職種で迷いながら就活していました。将来後悔しないよう3つの職種とも全力で活動しました。北は仙台から、西は名古屋まで動き回り、2~3月は素直さと行動力を重視し、ほぼ毎日就職活動の日々でした。その結果、教育、営業では1つも内定を頂けませんでした。大学で学んだことが活かせる建築技術職では内定を頂きました。将来は、女性の施工管理職としてパイオニア的な存在になりたいと思います。就職活動は、辛い思いもしましたが良い思い出になりました。

就活は、将来の自分を定める大切なイベントです。大いに悩んで、大いに楽しんでください。迷った時は行動あるのみです！後悔しないようにたくさん動き回って下さい。



<サービス業・構造設計職>

板垣 鉄哉 (浅里研究室 大学院生)

進路先: 株式会社開発設計コンサルタント

出身校: 青森県立田名部高等学校

幼少の頃から本学OBである叔父の背中を見て、建築に興味を持ち建築学科に進学しました。なかでも私が構造設計職を志望したのは、大学・大学院での授業や研究、インターシップを通じて、人間の財産・生命を守る構造設計に魅力を感じたからです。そのため構造設計事務所1本に絞り、就職活動を行いました。私が就職活動において大切だと思う点は、①日頃の学業は絶対怠けないこと、②就職活動で不安に思うことがあれば先生に相談すること、③面接時は元気よく対応すること、この3点です。今後は、建築学に精通する構造技術者を目指すことは勿論のこと、日本大学工学部建築学科卒業生として誇りを持ち、日々精進していきたいと考えています。



<建築設備業>

佐藤 薫 (千葉研究室 学部生)

進路先: 株式会社ユアテック

出身校: 福島県立田村高等学校

私は地元の企業に就職したいという思いを最優先し、就職活動を始めました。まず、合同説明会や工学部就職セミナーに参加し、その中で気に入った企業があれば、会社説明会や選考を受けていましたが、企業研究が浅く、なかなか良い結果を残せずにいました。そんな中、以前から興味を持つ設備会社の募集が構内に掲示されており、応募したところ学校推薦を頂くことができました。面接では、それまでの失敗を反省し、事前に用意しておいた言葉ではなく、質問に自分の言葉で伝えることを意識して望みました。SPI試験対策や企業対策も大切ですが、面接でいかに自分の意見をうまく伝えるかが最も重要だと思います。



<公務員>

三瓶 宜子 (浦部研究室 大学院生)

進路先: 郡山市役所 (建築職)

出身校: 郡山女子大学附属高等学校

私は大学院へ進学する前に民間企業での勤務経験があり、就職活動は2度目でした。学部の際は、自分の明確な意思よりも周囲に流されて就職先を決めましたが、今回は自分の適正や将来のことを深く考え、地元の公務員試験を受験する決心をしました。勉学が苦手な私が、幸いにも希望する自治体に採用されたのは、学内の公務員対策講座を有効利用し、毎日時間を見つけて勉強した結果だと思います。特に、面接や論文対策では細やかな指導をしていただきました。大学時代に様々な世界観を持った人と接し、大きく視野を広げ、様々な経験をすることが就職活動においても役立ちます。皆さんも周囲と相談しながら、悔いの無い就職活動をして下さい。



<建築関連製造業>

沼崎 一樹 (濱田研究室 学部生)

進路先: 株式会社東日本旅客鉄道

出身校: 福島県立福島工業高等学校

私は施工管理職を第一志望に就職活動を開始しました。活動当初は気になる会社の説明会に積極的に参加し、自分のやりたい仕事を明確にしようと活動しました。その中でJR東日本のことを知り、業務内容や経営ビジョンに興味を持ち、この会社で働きたいと強く思いました。

就職活動で大切と感じたことは、早い時期から就職活動を意識し、その対策のために最大限の努力をすることです。特に、筆記試験(SPI)や自己分析対策は重要と感じました。また、面接については、とにかく回数をこなす慣れることが大事です。在校生の皆さん、最後まで諦めず、自分の納得できるまで挑戦し続け、新たなステージへ進んでください。

# 新任の先生

## 准教授 速水清孝

所属：歴史・意匠系  
(建築歴史意匠研究室)



元の東大第二工学部があった場所にある千葉大を出て、第二工学部の後身である生産技術研究所に学んだ。そしてこのたび、元の日本大学第二工学部であるこの工学部に。

密かに「生粋の二工」を自認してきた僕にとって、これほどの合縁奇縁と呼ぶべきことも他にない。

東大の二工と言えば、本郷の工学部に対しては野党とも、野性的とも言われた場所である。生産技術研究所に残るその空気を満喫した僕にとって、この、「二工であった」というごく単純な事実が想起させる立ち位置の、何と心地のよいことか。

そして、郡山のこの場所はと言えば、元は海軍航空隊のあった所である。つまりそれは、軽快な鉄骨造住宅(「SH-1」1953.)で建築界に衝撃を与えた広瀬鎌二の、戦後の下地を作った場所ということになる。

個人の努力なくしては始まらないが、背後にある目には見えない場所の力も、無視できるものではない。きっと、航空隊・二工を経て工学部となってもなお、多くが得ただろうその場所の力に、僕も浴することを願ってやまない。

そしてまた、千年に一度という東日本大震災を、世界が讃える崇高さをもって耐える東北人の一人に、このたび僕もなれた。そのことを心から誇りに思っている。

## 助教 大山亜紀子

所属：歴史・意匠系  
(歴史建築研究室)



この春より建築学科の助教を務めさせていただくことになりました。私は日本大学理工学部で大学・大学院時代を過ごし、在学中は大好きな東南アジアへ行っては、遺跡を調査して論文を書くという日々を過ごしてきました。海外のフィールドワークは限られた時間と慣れない環境のなかでの大変な経験でしたが、戦災や経済開発で歴史的に価値のある建築が失われつつあった東南アジアの文化伝統の継承に貢献したいという思いから、研究の世界へと足を踏み入れるようになりました。東南アジアの調査研究を通じて、たくさんの貴重な出会いと経験に恵まれ、物事の価値を見直す機会にたびたび遭遇することができました。今となっては、そうした経験が私の財産になったと思っています。

大学院を修了した後は研究員や助手を経て、東京都世田谷区の古民家を移築した施設に勤務し、地域を主体にして文化財を守り活用することの重要性や手法を学びました。

建築史という分野は工学系のなかでも経済的効率性の追求とは対極にありますが、お金では買えない時間が生み出す価値や先人の知恵のすばらしさを、みなさんに少しでも伝えていけたら嬉しく思います。この工学部で皆さんとともに興味や好奇心を育み、学びながら、私自身も成長してゆきたいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。

## 平成23年度 建築学科教職員

今年度の建築学科は、以下の常勤教員18名と教室事務1名の計19名のスタッフにより教室運営を行います。非常勤講師を含めた全スタッフは、次号(2011年7月上旬発行予定)にて改めて紹介いたします。

教授	浅里和茂	鋼構造	16号館	1階	106	学科主任
教授	倉田光春	応用力学	16号館	2階	204	
教授	千葉正裕	構造力学	16号館	2階	205	広報担当
教授	出村克宣	建築材料学	9号館	1階	114	学部長・副総長
教授	濱田幸雄	建築環境工学	16号館	3階	310	4年1組クラス担任
教授	三浦金作	都市計画	45号館	2階	207	2年1組クラス担任
教授	若井正一	インテリアデザイン	45号館	3階	301	
准教授	浦部智義	建築計画	9号館	3階	309	教務係
准教授	速水清孝	近代建築史	9号館	3階	310	
准教授	S.N. パリーク	建築化学	9号館	1階	102	3年2組クラス担任
准教授	土方吉雄	都市計画	45号館	3階	304	学務副委員長
准教授	ブンタラS.G.	工学経済分析	16号館	2階	206	5年次生以上クラス担任
准教授	松井壽則	住宅計画	45号館	2階	205	3年1組クラス担任
専任講師	市岡綾子	建築計画	45号館	3階	305	
専任講師	野内英治	鉄筋コンクリート構造	16号館	2階	207	
助教	大山亜紀子	日本建築史	9号館	3階	308	
助教	齋藤俊克	建築材料実験	9号館	1階	114	2年2組クラス担任
助教	日比野巧	構造力学演習	16号館	2階	205	4年2組クラス担任
教室事務	小林まゆみ	建築学科センター	16号館	3階	309	

\*野内英治専任講師は、日本大学中期海外派遣研究員として、最新の建築構造デザインに関する調査研究のため、4月9日から9月18日まで Civil & Environmental Engineering, Imperial College Londonに6ヶ月間海外出張中です。

なお、今年度の就職指導委員は、松井壽則准教授とサンジェイ パリーク准教授です。就職指導課(54号館2階)やCSNaviを活用して積極的に活動し、後悔のないように努めてください。あきらめずに粘り強く活動しましょう。